



年頭あいさつ 松井まちづくり協議会長 安田 敏男

『文化歴史・自然環境遺産認定事業』・・・見事



『謹賀信念』新しい年もコロナが心配かも知れませんが、必ず今年こそは『良い年になる』と信じてお互いに頑張りましょう。

さて、まちづくり協議会を創立して7年になりますが、最

大の事業は『文化歴史遺産&自然環境遺産』認定事業であります。90歳で勇退された森田道昭委員長と青山弘子副委員長を中心に公募委員も含め14人と事務局職員とで熱く語り合い、現地を視察確認しながら、37か所に標識柱を設置できました。

また、昭和22年に松井村男女青年団が愛唱した『松井シャンソン』『松井小唄』『手に手を取って』という民謡？を採譜してもらい認定できましたことも素晴らしく、関係者に心より感謝申し上げます。大きな地図を学校などに贈呈したり、素晴らしいガイドブックも出来上がり、認定遺産を巡る際の貴重な資料となり、きっと、未来永劫まで残り、子供から年配者までが「ふるさと松井を誇りに」思ってもらえる事業になると確信しております。

皆さん、本当にありがとうございます。心より感謝しております。



行政相談懇談会が開催されました

11月9日(火)、「第21回 行政相談懇談会」が松井まちづくりセンターホールで開催されました。

総務大臣から委嘱を受け、暮らしに関する地域の声を行政に届ける『行政相談委員』の存在をご存知でしょうか。所沢市では、現在6人の行政相談委員が地域における「困りごと」に関する助言や関係行政機関への橋渡しを行っています。

そうした活動の一環として、年1回、市内各地区持ち回りで実施されるのが「行政相談懇談会」で、松井地区では平成18年以来的開催となります。



行政相談懇談会会場風景

当日は、松井まちづくり協議会・安田敏男会長をはじめとする地区内団体(自治連合会、自主防災会、民生委員、防犯、環境、スポーツ協会)代表者等13名、所沢市市民部長、総務省関東管区行政評価局(4名)、行政相談委員所沢部会(6名)及び事務局の市職員が参加し、前半で「行政相談委員制度」の説明が、後半で行政に関する意見・要望の聞き取りが行われました。

その中で出された主な意見・要望は、次のとおりです。

- ◆行政相談窓口として紹介されている電話番号について、無料で通話できるよう改善してほしい。
- ◆東川のあけぼの橋から東中学校に至る通路について、夏場は生い茂る草が通行の妨げになっている。県による除草の回数を増やしてほしい。

(以下次ページへ)